

朝夕の風に秋の気配を感じるようになりました。お変わりありませんか。
さて、7月28日に熊本県で震度7の大きな地震が発生し、4,000棟以上の家屋が被害を受けました。
いつ起こるかわからない大地震。ご自宅は安全ですか？お住まいの耐震性をいま一度見直してみませんか？
今回のWATAKENNEWSも「耐震」についてお届けします。

「住める家」と「守れる家」は違う。 耐震を考えるリフォーム 今こそ 耐震診断・耐震改修



前号では耐震診断・耐震改修とはどんなものかについてお届けしました。
今号では気になる予算について大まかにご案内いたします。

耐震診断

耐震診断士による目視や調査器具で必要なポイントを調査し、
耐震性を診断します。



耐震診断の予算は？

132,000円～（税込）（2026年8月現在）

* 内訳

現地調査・図面作成・報告書作成

* 昭和56年度5月以前に着工された「旧耐震基準」の建物の場合、秋田市が費用の一部を負担するので
自己負担額は1万円（但し令和8年度の受付は終了）

最近の住宅であれば大丈夫？

昭和56年度以降の建物でも実施しています。建物の基準となる法律が何度も変わっているため、
少なくとも平成12年5月までの建物は一度チェックが必要です。

耐震改修（補強設計を含む）

耐震診断の結果「倒壊の可能性がある」と判定された
建物は耐震改修（補強設計を含む）が必要です。

補強設計の予算は？（耐震改修の前に、必ず必要です。）

耐震補修設計費用 132,000円～（税込）（2026年8月現在）

* 内訳

現地調査・設計書作成（1案）

裏面へ続く



耐震改修費用の目安

耐震補強工事費の目安として、**木耐協（注1）**統計データでは**平均はおおむね160万円前後**とされ、過去の調査では150万円未満が過半数を占める一方、建物が古い場合や床面積が大きい場合は費用が上がる傾向があります。

秋田の住宅は、雪国特有の積雪荷重を考慮する必要があることに加え、比較的大きな住まいも多いため、全国的な平均額よりも改修費用が割増しになる場合があります。そのため、**秋田での耐震改修費用の目安としては、一般的な補強で150万円～250万円程度、建物の規模や劣化状況、補強内容によっては300万円程度を見込む場合があります。**

耐震改修工事の参考価格

壁	15～18万円／幅910mm
屋根	1.5～2万円／㎡
基礎	4～5.5万円／㎡

* 令和8年3月の「第3期秋田市耐震改修促進計画」で、全体耐震改修工事の補助上限額を100万円に拡充されました。

また、部分耐震改修工事に対し、新たに最大50万円を補助する制度が創設されました。
(但し令和8年度の受付は終了)

注1：木耐協

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合(木耐協)とは、全国約1,000社の工務店・リフォーム会社・設計事務所などから構成される団体です。

国土交通省の「住宅リフォーム事業者団体登録制度」の登録団体となっています。

組合員は実務的な研修会・講習会を実施し、耐震診断・補強レベル向上を図っています。

「第30回住生活月間 功労者表彰」において『国土交通大臣表彰』受賞や「ジャパン・レジリエンス・アワード2016」及び「ジャパン・レジリエンス・アワード2018」

においても表彰された実績豊富で信頼できる団体です。

ワタケンは木耐協の組合員です。耐震診断・耐震改修はワタケンにお任せください。



耐震の専門家ワタケンにおまかせください。

お問合せ先  0120-766-081 (ワタケン) ホームページもご覧ください。
<http://www.kk-wataken.jp>



今月のワタケンくん！

7月の熊本の震災では、耐震化の効果が表れた熊本城が話題となっています。いつ起こるかわからない大地震へむけて、お住まいの耐震化を真剣に考えてみませんか？

